

# 授業改善推進プラン 【図画工作】

谷戸第二小学校

## 1 日常の学習における課題分析

### <関心・意欲・態度>

どの学年も図工を楽しみ意欲的に取り組んでいる。中には技術的なことで表現活動を苦手を感じる児童もいる。

### <発想や構想の能力>

自分なりの発想で描いたり作ったりする時に、イメージが湧かず、表現活動が進まない児童もいる。

### <創造的な技能>

表現力の蓄積が少ないためなのか、豊かな表現活動ができない児童もいる。

### <鑑賞の能力>

親しみをもって造形作品に触れ、友達の作品や活動の良いところや楽しさに気付くことができる児童が多いが、そうでない児童も見られる。

## 2 授業改善の方策 <言語活動の充実を踏まえて>

### ・ <関心・意欲・態度>

作品が完成した時の達成感、充実感が味わえる題材の工夫や表現の喜びを味わわせる授業を展開する。楽しく身体感覚で感じるような授業や、分かりやすい言葉で授業を展開していく。

### ・ <発想や構想の能力>

描いたり作ったりする時の想像力を豊かにするために、話し合い活動や、児童の体験を生かす。プレゼンテーションの力をのばす。

### ・ <創造的な技能>

創造的な技能は各々の体験や知識の中から児童が選択し意図的に生じると考えると、児童の表現を的確に分かりやすい言葉で受けとめ、表現のよいところを分かりやすく伝えていく。

### ・ <鑑賞の能力>

普段の授業において鑑賞時間を充実させ、かつ日常的にも自他の作品を鑑賞する機会を通し、色・形・直感的なイメージ等を活用した話し合い活動を大切にする。

### ◎ 言語活動の充実

表現や鑑賞をする時、自他の作品のよさを分かりやすい言葉で説明する力を付ける。表現を明確化するには、身体活動や造形的な体験・経験を多くさせ、想像力を豊かにする。

## 3 補充的・発展的な学習指導

- ・ 完成させることができなかった児童には休み時間や放課後を中心に時間を与えて対応しアドバイスをする。
- ・ 発展的学習としてポスター等のコンクールへの参加を呼びかける。早く終わったら活動が深められるように発展的な教材を用意し、時間を有効に活用できるようにする。